

# 令和6年度 修繕仕様書

修繕名 4号焼却炉しき焼却用コンベヤNo.4修繕

修繕箇所 荒川水循環センター(戸田市笹目地内)

修繕大要

修繕期間 契約日 ~ 令和7年2月28日

修繕内容 4号焼却炉しき焼却用コンベヤNo.4の分解点検、組立、清掃、劣化部品の交換及び試運転調整等一式。

対象機器 4号焼却炉しき焼却用コンベヤNo.4 1台

















## 特記仕様書

4号焼却炉しき焼却用コンベヤ No. 4 修繕

令和6年度

公益財団法人埼玉県下水道公社

# 目 次

第 1 章 共通

第 2 章 対象機器

第 3 章 修繕内容

別表 1 交換部品等一覧表

4号焼却炉しさを焼却用コンベヤ No. 4 修繕図面一覧表

# 第 1 章 共 通

## 1 適用範囲

この特記仕様書は、本修繕に適用し、公益財団法人埼玉県下水道公社修繕標準仕様書を補足する必要な事項を定めるものとする。

## 2 概 要

本修繕は、荒川水循環センターに設置されている汚泥焼却炉設備を長期にわたり円滑に稼働させるため実施する。

## 3 適用規格

次の諸規定を遵守すること。

なお、規定は本修繕契約時の最新版を使用する。

- ・ J I S
- ・ J E C、J E M
- ・ 電気設備技術基準
- ・ 機械設備工事一般仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事一般仕様書・同標準図（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備工事必携（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事必携（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備工事特記仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 電気設備工事特記仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 機械設備標準仕様書（日本下水道事業団編著）
- ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（国交省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（国交省大臣官房官庁営繕部監修）
- ・ 埼玉県機械設備工事特別共通仕様書
- ・ 埼玉県電気設備工事特別共通仕様書
- ・ 埼玉県建築工事実務要覧
- ・ 埼玉県土木工事共通仕様書

## 4 対象機器

対象機器は、第 2 章のとおりとする。

## 5 修繕内容

本修繕内容は、第 3 章のとおりとする。

## 6 注意事項及び条件

注意事項及び条件は次の事項のとおりとする。

- ・ 据付作業は正確に行い、長期の使用に十分耐えられるものとする。
- ・ 施工に電動工具を使用する場合は、保護装置を介して施設の運転に影響を及ぼさないようにすること。
- ・ 設備停止及び部分停電を必要とする場合は、予め監督員と打合せを行い、停止・停電時間の短縮に努めること。
- ・ 施工前または施工後に行う C/C 盤等の電源遮断や電源投入は監督員、現場代理人等の立会いの下で行い、施工中であることを表示すること。
- ・ 受注者が電源を用意して使用する場合は、電気主任技術者の承諾を受

- けること。移動型自家用発電機（10kW以上）を使用する場合は、経済産業省に届け出すこと。
- ・ 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省）によるものとし、足場の組立てについての種類、機材性能、使用方法等については「手すり先行工法による足場設置基準」によるものとする。
  - ・ 石綿（アスベスト）の恐れのある場所は確認を実施し、必要に応じて対策を行うこと。
  - ・ 受注者は、作業着手前に関連労働者等のダイオキシン類暴露防止を定めた「ダイオキシン類暴露防止作業計画」を施工計画書と共に提出すること。なお、焼却炉施設内作業におけるダイオキシン類への暴露防止対策については、管理レベルに応じた資機材を使用すること。
  - ・ 高所及び地下における作業は、転落に十分注意し、必要な安全対策を講じること。
  - ・ 配管貫通口を開ける際は、壁が鉄筋コンクリート造のため、スキャン式調査等を行い、調査結果及び施工箇所を監督員が確認した後に、適切に施工すること。
  - ・ 酸素欠乏危険作業場所及び類似の危険作業においては、法令で定められた作業主任者講習や特別教育終了者以外の者が業務に就かないこと。また、作業主任者を選任すること。
  - ・ 管渠、槽内などにおいて、酸素欠乏、有害ガス等が発生する恐れがある場合は、施工前にその有無を酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者が測定し、安全を確認したうえで実施する。施工時は常時測定監視及び換気を行うこと。なお、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了書の写しを施工計画書または作業要領書に添付すること。
  - ・ 作業中に異常があった場合は、ただちに作業を中断し監督員に連絡すること。
  - ・ 有害ガスの飛散その他事故が発生した場合は、直ちに監督員に連絡するとともに必要な応急処置を行うこと。
  - ・ 万が一事故が発生した場合に備え、緊急連絡体制を整えておくこと。
  - ・ 危険な作業範囲内には、立ち入らぬよう標識・バリケード等を設置し、吊り荷重の確認を行い、作業に見合った適切なクレーン車等を用いて実施すること。
  - ・ 施工場所の近隣に施工日時等を事前周知すること。
  - ・ 施工にあたり発生する現場発生品は、受注者が適正に処分すること。
  - ・ 修繕期間中は、工事用看板を設置すること。

## 7 負担区分

施工にあたり、次に掲げるもの以外の消耗品等は受注者の負担とする。ただし、使用については取扱いに十分注意し、監督員の指示に従うものとする。

- ・ 用水
- ・ 試験用電源（AC100V-15A以下に限る）  
ただし、停電時、停電作業時等で発注者が電力を供給できない場合は、受注者が発電機等を用意して実施すること。
- ・ 既設照明設備
- ・ その他、監督員が認めたもの

- 8 建設副産物の処分等に関する入力等について  
受注者は、建設副産物の処分等に関し、国土交通省リサイクルホームページ内の建設リサイクル報告様式（エクセル版）によりデータを作成し、電子ファイル及び紙帳票を監督員に提出すること。
- 9 下水道施設台帳システム（AMDB）登録情報の整備  
本修繕で設置・更新・仕様変更した機器等の情報について、公社が指定する様式に機器仕様などの情報を整理し、電子データ（エクセル形式）を提出すること。
- 10 環境配慮への取組  
環境負荷の低減や汚染・事故防止、環境管理体制の確立を図るとともに、地域・住民への信頼性の向上を図ることを目的とし、公益財団法人埼玉県下水道公社が行う環境に配慮した活動に積極的に参加すること。
- 11 その他  
本修繕に関連する作業について、発注者が調整し、受注者はこの関連作業について円滑施工に協力すること。

## 第2章 対象機器

- 1 4号焼却炉しき焼却用コンベヤ No. 4  
型 式：スクルーコンベヤ（シャフトレス）  
仕 様：処理能力 0.5t/h  
機長 10.35m  
駆動減速機 3φ×2.2kW×400V  
数 量：1台  
製造会社：日本インカ株式会社

## 第3章 修繕内容

- 1 4号焼却炉しき焼却用コンベヤ No. 4
  - （1）修繕前後データ測定
  - （2）コンベヤ分解・清掃作業
  - （3）摩耗・劣化部品の交換調整（別表1参照）
  - （4）試運転調整
  - （5）補修塗装
  - （6）交換部品の処分作業

別表 1 交換部品等一覧表

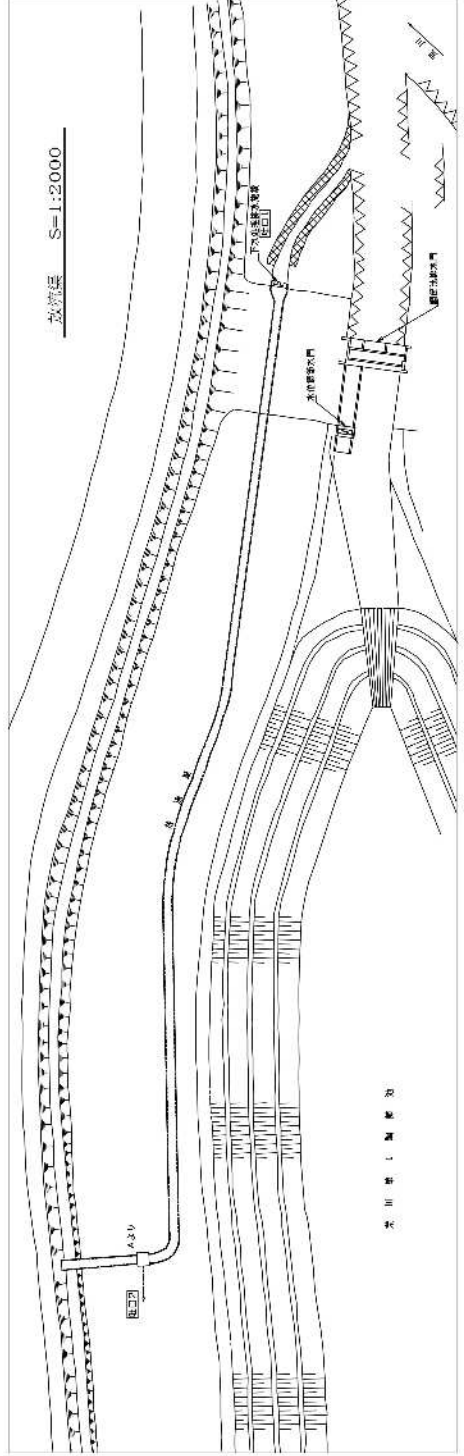
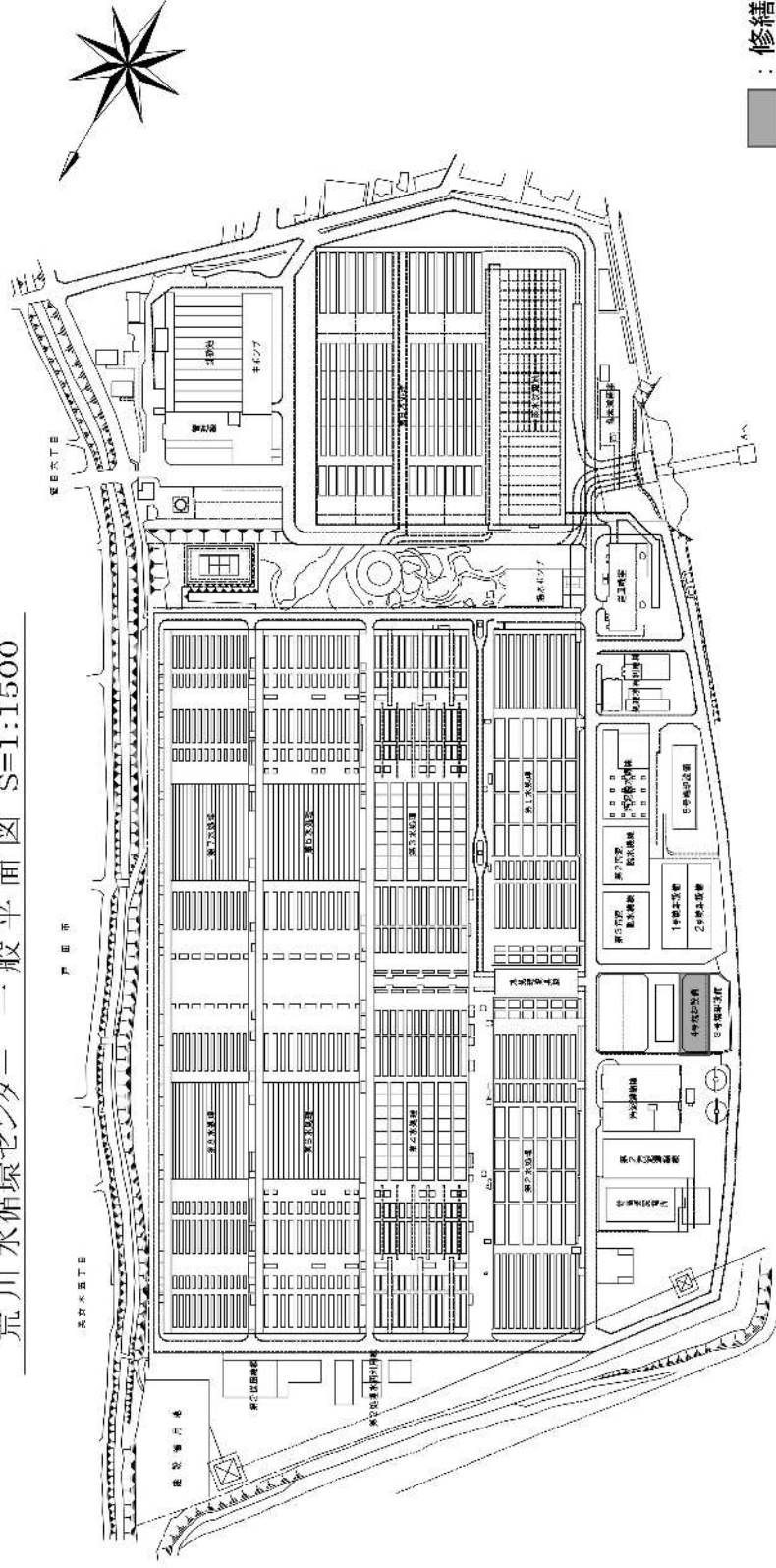
番号	名称	仕様	数量	単位	備考
4号焼却炉しき焼却用コンベヤNo. 4					
1	スパイラルスクリュー	特殊高張力鋼, $\phi 280\text{mm} \times \text{P}320\text{mm}$ , L=10. 271m 塗装仕様: 1種ケレン、ジंकリッチペイント1回塗り エポキシ樹脂塗料(水中部用)3回塗り 塗装膜厚計: 375 $\mu\text{m}$ 以上	1	本	
2	ケーシング蓋 (点検口付)	SUS304 L=1, 347	1	個	
3	ケーシング蓋 (点検口無)	SUS304 L=1, 000	1	個	
4	ケーシング蓋パッキン		1	式	

※上記の仕様と同等の機能を有するものとする。

## 4号焼却炉しき焼却用コンベヤNo. 4 修繕図面一覧表

図番	図面名
1	荒川水循環センター 平面図
2	4号焼却炉 フローシート
3	4号焼却炉 全体平面図
4	No.4しき焼却用コンベヤ外形図

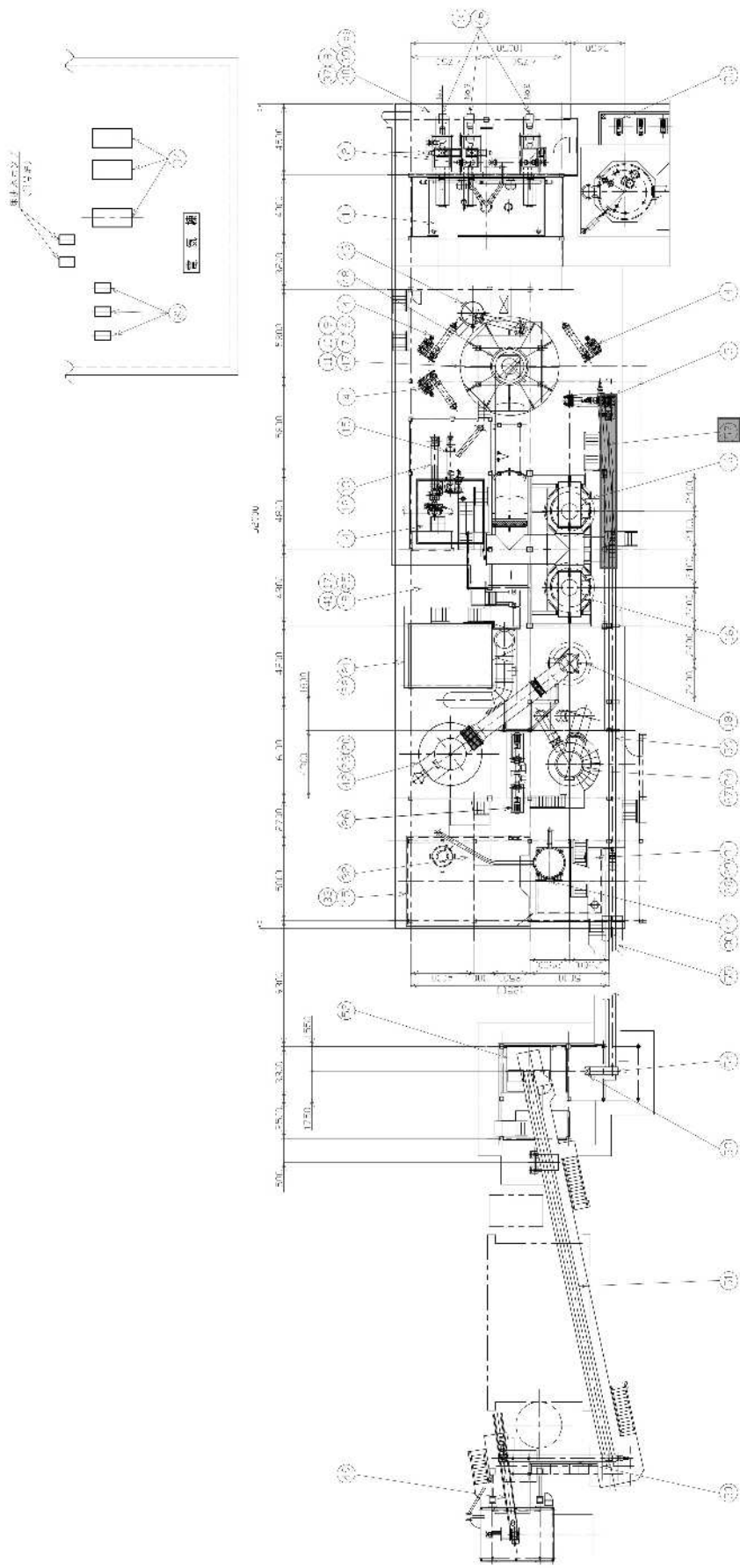
荒川水循環センター 一般平面図 S=1:1500



図面名 荒川水循環センター 平面図 図番1







■ : 修繕対象

品名	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
構造名称	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置
数量	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
規格																														
設置位置	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内	炉内
設置時期	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年	昭和30年
構造名称	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置	炉内冷却装置

図面名 4号焼却炉 全体平面図 図番3

